

令和 6 年度 TOHOKU ブランド確立促進支援事業

応募申請書【記入例】

■ 支援内容:専門家派遣による地域ブランド開発・地域ブランド化への支援

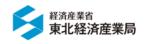
■ 支援期間:令和6年9月~令和7年2月(予定)

■ 提出先(事務局):株式会社リベルタス・コンサルティング 五十嵐義明

メール: tohoku-brand@libertas.co.jp / 電話: 03-3511-2161

※ご記入いただいた内容は本事業の運用に係る目的のみに使用し、他の目的には使用いたしません。

※ご記入いににいた内容は本事業の連用に係る目的のみに使用し、他の目的には使用いたしません。				
所在県名	宮城県			
団体名	TOHOKU ブランド協同組合			
住 所	〒123-4567 宮城県ブランド市 99 丁目 99 番地 99 号			
概要	1. 団体の概要(活動目的・内容、会員の所属業種、会員数等) 東北の地域ブランド商材の開発・販売に関わる事業者の発展・成長のため、 会員間の交流・連携・情報交換を行っている。食品加工、卸・小売、広告、情報(ネット系)の事業者が主たる会員企業である。 2. 活用する地域資源や取扱商品の概要 県北を中心に生産されている〇〇を熟成・発酵させた「〇〇」という加工食品のブランド化を目指している。同食品は色味が鮮やかで、血圧上昇を抑える効能が確認されており、健康志向の消費者層の需要を開拓できる可能性があるとみている。 また、同食品を使った創作料理を地元ホテルのシェフと共同開発し、メニューに加えて頂き、知名度の向上と普及浸透を図る計画がある。 3. 法人格の有無(取得予定) 当組合は事業協同組合として法人格を有している。			
取組状況	 当組合は事業協同組合として法人格を有している。 1. これまでどのような取組を行ってきたか 地元の生産者(農家・JA)と安定生産と品質向上に向けた協議を行っているほか、○○大学(○○研究室)に依頼して機能性の有無について検証してもらっている。 ホテルのシェフとの連携は構想段階であり、実践はこれからである。 2. 地域ブランド開発、地域ブランド化の現状 生産量の確保と、モノとしての価値(健康に資する機能性等)の検証はある程度進んでいるが、どういうストーリーや商品像で価値を発信するかは今後の検討課題(ホテルとの連携はその選択肢の1つ)。 この食品単体ではなく、地元飲食店にレシピとともに提供し、地域のグルメ素材として存在感を高めつつ、地域のイメージ向上(例えば「健康支援のまち」)にもつなげたい。この点については市との意見交換も始めている。 3. 商標等の知的財産の取得・活用状況、今後の取組予定商標などにも取り組みたいが知識・経験が不足しているので、まずは専門家によるレクチャーを受けつつ、始められるところから始めたい。 			



	T			
	1. 地域・団体や取扱商品を 10 年後にどうしたいか			
	地元住民はもちろんのこと、域外からの観光客や当地域ファンを増やすきっかけ			
	となる商材に育てたい。そのための魅力・強みとして上述の健康面での機能性を			
	位置づけ、地域自体のイメージを高め、交流人口増との好循環を生み出したい。			
ビジョン・目標	そうした活動を通じて当組合の会員数の増加と活動の活発化を図りたい。			
	2. 団体として設定している活動上の目標(定量、定性、達成時期)			
	特に達成時期は決まっていないが、早い段階で機能面に関する客観的エビデ			
	ンス取得、10 種類の独創的なレシピ作成、10 件の連携先(ホテル・飲食店)			
	確保を目指している。			
	1. 現下の課題内容			
	組合に専任のワーキングチームを	を作りたいが、どうい	うメンバー構成でどういう活	
	動を進めていくべきか整理すること。市場性を調査したいが、マーケティング企業と			
 =	のコネクションがない。知財についての知識・経験が不足している。			
課題・支援ニーズ	2. 支援を受けたい内容			
	上記の課題への解決策を具体的に立案したい。そのための支援が得られると			
	有り難い。この支援ではロードマップを作成するとのことなので、活動を継続的に進			
	めていく上で期待感が大きい。			
	支援会合(ワークショップ等)に参加する主な企業・団体・個人の名称・氏名:			
	○○株式会社の○○専務、ブランド市役所地域産業振興課(商品開発支			
士揺た巫はス仕知	援担当者)、JA〇〇、ほか(詳しくは別紙の通り。)			
支援を受ける体制	オブザーバー参加してもらいたい企業・団体等:			
	○○ホテル内レストラン「○○」の料理長(○○○○氏)、当市観光協会の			
	企画調整課(新規事業企画担当	省者)		
連絡担当者氏名	東北 華子	所属部署	企画部産業創生課	
電話番号	123-456-78XX	携帯電話番号	080-123-45XX	
FAX 番号	123-456-78XX	メールアドレス	tohoku@aaa.or.jp	

※ 応募者が自治体以外の場合、本事業への協力依頼等のため、地元自治体の関係課を下欄にご記入ください。 (特に自治体と連携していない場合は「なし」と記入してください。)

地方自治体	ブランド市役所	部課名	産業労働部地域産業振興課
-------	---------	-----	--------------

支援後の協力	以下の項目について同意・了承いただける場合は"□"にチェックを入れてください。
について	☑ 支援終了後に、支援内容や成果等をまとめた資料(但し機密事項は含まない)
	を、事例として、東北経済産業局 HP 等で公表や配布することに同意する。
	☑ 支援実施期間中に、専門家による支援を計 5 回受けることを了承する。
	☑ 支援終了後、東北経済産業局による本事業に関するヒアリングを了承する。

(以上)